

# むつみ

2020年前期 No.57



## 葵会総合ケアステーション

訪問看護 TEL 075-495-2241  
 居宅支援 TEL 075-495-5678  
 〒603-8206 京都市北区紫竹西南町65-34  
 通所介護 TEL 075-495-2588  
 〒603-8473 京都市北区大宮山ノ前町36-1



職員みんなで、2Fから撮影（2020年6月）

## コロナ拡大、対策早く！笑顔溢れる日々を届けたい！

2020年も半分以上が過ぎました。昨年12月に中国武漢で発生したCOVID-19の感染が拡大し、今年3月には世界保健機構からパンデミック宣言が、4月には日本政府の緊急事態宣言が出されました。私たちの事業所の周辺でも、学校が休校、飲食店が休業・廃業、通勤から在宅勤務へなど、大きな変化が起こりました。

利用者さんの生活も一変しました。ご家族の失業や廃業、外出の自粛、デイサービス等の介護サービスの手控え等、心身の状態にも様々な影響を及ぼしていることがわかりました。(4ページコロナ影響調査アンケート結果参照)

私たち職員一同、感染対策に努めながら、利用者・家族の皆様や地域の皆様とともに、住み続けられるまちづくりを様々な形で実践していきたいと思います。人々の命や暮らしを守り、もっとも弱い人の立場に立って応援し続けてくれる国や地方自治体の在り方を求め、発信し続けたいと思います。

### 私たちの基本理念

1. 私たちは、利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ったサービスの提供に努めます。また利用者様を介護される方の負担の軽減を図ることにより、利用者様が居宅での生活を維持できるように支援します。
2. 私たちは、利用者様に対して親切丁寧、公平を絶えず心がけ、常に利用者様とそのご家族の立場を理解して、利用者様の安全と信頼をえられるように、言動に注意をはらいながら業務を遂行します。

医療法人葵会総合ケアステーション

# 未来に平和を 引き継ごう

谷 衣子さん

京都市出身 S5年生まれ

太平洋戦争が始まったのは昭和16年、私が小学校6年の時でした。翌年4月女学校に入学しましたが、軍事態勢が強まる中、制服のスカートは廃止。モンペ姿で通学しました。体育の授業では本土決戦に備えての竹やり訓練がありました。

昭和19年5月、学徒動員令が下りると、京都府南部の山間地域にあった陸軍の兵器工場で働きました。毎朝5:30起床、工員さんと一緒に軍人勅諭を称え、高射砲弾、迫撃砲弾、手榴弾、地雷の増産に励みました。戦局が厳しくなり本土空襲が始まると、空襲警報が頻発する度に作業が中断されるため、遅れを取り戻すため残業の日々となりました。当時女学生だった私には過酷な日々でしたが、お国のために自分に言い聞かせて頑張りました。

そして昭和20年8月15日、目を真っ赤にした女教



戦後75年を迎え、戦争体験者が一刻と少なくなるなか、記憶の風化が懸念されています。9条改憲案は、「必要な自衛の措置」として「戦争する国」にむけ集団的自衛権の全面行使をも可能とするものです。

私たちは、今を生きる戦争を知らない世代として、「二度と戦争はしないでほしい」という先人の切なる願いを未来へ引き継いでいかなければなりません。

師から「今日の正午、陛下の玉音放送があり、日本は連合国に申し入れを受け入れました。日本は負けたのです。」と告げられました。ひたすら必勝を信じてきた私たちには大きな衝撃でしたが、心の片隅には「これで家族との生活に戻れる…」という、ほつとした思いもありました。その日の午後、宿舎で昼食をすませて、午後の作業に出発した私たちがK中学校の宿舎の前を通りかかると、5~6人の生徒たちがこちらに向かって何か大声で叫んでいました。言葉は聞き取れませんでしたが、身振りから「戦争に負けたのに、なぜ作業に行くのだ！戻れ！戻れ！」と言っている様に感じました。

その後、作業場の整理をした帰路で、一列に並ばされた生徒達が、見習士官からビンタされているところを見ました。鼻血が出て、両手で顔を覆っている生徒もいました。その見習い士官は音楽好きで、私もコーラスの指導を受けていました。彼の指導で歌った『花』の二部合唱は今でも忘れられません。

75年前、「神州不滅」と教えられた日本の歴史が大きく変わった夏の日の光景が、今も瞼に蘇ります。

## <特集記事>

平和への願いを込めて  
利用者さんに聞きました…

浅井 英男さん

京都市出身 T15年生まれ

通信兵として朝鮮に配属されていた。その頃はあまり食料に困ることもなかった。

ある日内地に帰ると言われ、防寒具が全員に配られた。内地に帰るのに何故？おかしいなと思ったら、シベリアに送られた。そこからは本当に酷い目にあった。



## 清水 妙子さん

京都市出身 S7年生まれ



昭和18年、父が戦地へ行きました。スマトラ島です。私が11歳、妹二人は8歳と3歳の時で、本当に突然、女だけの生活になりました。お國のため、お國のためと皆言っていたけど、なぜ?という思いは最後まで消えなかった。そして14歳の時、兵隊さん達の食料品を作るため伏見区まで学徒動員されます。大阪で空襲があると京阪電車が止まってしまうため、1日作業した後でも、何度も伏見から北区の自宅まで歩いて帰りました。戦地から命からがら帰って来た父は…本当にとても瘦せていました。

戦後は京都府民生部で児童福祉の仕事に就きましたが、きっかけは戦争の犠牲になったたくさんの子どもたちを見たことです。親を亡くした子どもも、育てられず手放されてしまった子どもが本当にたくさんいました。戦争さえなければ、怒りを覚えずにはいられませんでした。

最後にどうしても伝えたいことがあります。戦争ほど、残酷で愚かなことはありません。

## 山代 和子さん

香川県出身 S3年生まれ



香川県高松市で生まれ育った。

小学校3年生の時に戦争が始まった。芋のつるを食べたり、大豆を食べて飢えをしのいでいた。

女学校の時(17歳)に爆弾が落ちてくるようになった。栗林公園に防空壕があったが、その中に逃げて入っていた人達は、蒸し焼きになり、みんな死んでしまった。

昭和20年8月4日、上から落ちてくる爆弾を見ながら、親子ばらばらで塩田に逃げた。(大きな布団を水につけて持って逃げた)「生きてる!助かった!」と思い家に帰ると、家は無残にもまる焼けだった。唯一残っていたのは、風呂釜の中に落ちていた麻雀の牌だけ。そのなかでも家族みんなが無事で会うことができたことがうれしかった。

その後は、知り合いの方が部屋を貸して下さり、みんなで身を寄せた。夢は医者になることだったけど、医学部はお金がかかる上に家を建てるお金もいるため、夢をあきらめて日本銀行高松支店で働いた。

戦争を体験して思うことは、平和が一番! 戦争なんてするもんではない! みんな(日本人)にこんな思いはさせたくない!

## むつみ2019年後期号が、最優秀賞 京都民医連の機関誌部門

むつみ2019年後期号が、京都民医連の機関誌部門で最優秀賞に選ばされました。

年に2回発行に向けて、毎月広報担当の職員が知恵を絞り、メインテーマを考え取材するなど、業務の傍らで機関誌づくりを進めてきました。

今後も、利用者さんや地域の友の会会員さんの声を大切にし、その時々の情報発信に努めていきたいと思います。

なお、毎月1日にはホームページを更新しており、訪問看護・ケアマネジャーのブログをはじめ、デイサービスの行事などを紹介しています。

介護保険制度の改正や社会保障制度の紹介、健康に関することや職員のつぶやきなど掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。



## 新型コロナウイルス関連の 聞き取り調査を実施しました

新型コロナウイルスによる自粛要請で、介護サービス利用者の生活状況について聞き取りアンケートを行いました。(2020.5.1～5.31)

76名の方にご協力いただき、医療面、介護面、生活面、精神面の項目で聞き取りました。

医療面では、「セデスの痛み止めで我慢している」「親族から白内障入院を遅らせるように言われた」など、受診控えや延期。介護面では「デイサービス開始予定であったが延期した」「船岡山でラジオ体操に取り組んで人との交流もあったが全て中止の為、会話することが減っている」など、利用を控える人が多く(35%)、知人との交流も減っていることがわかりました。

精神面では「憂鬱な気持ちがして気が重く感じる」が43%もおられ、精神的に影響を受けている人が多く見受けられました。

経済面では、職場の倒産、パートの回数が減らされるなどの話が聞き取れました。

新型コロナウイルスによる自粛影響は多面的で影響、深刻な状況であることが分かりました。



## 職員の異動のお知らせ

新しく仲間に加わったスタッフです。  
よろしくお願いします。



居宅介護支援  
竹村 順子



居宅介護支援  
藤田 光里



訪問看護  
田中 秀隆



デイサービス  
藤居 友香

## 今後の活動

### ～友の会強化月間～

10月から、「健康で安心して住み続けられるまちづくり」の仲間増やし月間がはじまります。コロナ禍の今、安心して住み続けられるまちづくりをめざす共同組織の役割が求められています。

「医療介護の相談ポスター」の張り出し等協力をお願いします。



(お楽しみ会の○×クイズ)

### ～介護ウェーブ～

高齢者の実情や介護現場の現状を知らせ、国・自治体・世論に改善を働きかけます。段階的に介護報酬が減らされてきたなかで新型コロナウイルスが発生しました。介護事業所や利用者に負担や補填を求めるのではなく、政策の一環としての支援を訴えていきます。

2021年から①補足給付(ショートや入所時の食事代、部屋代の減額制度)②高額介護サービス費の見直しが始まります。ますます利用者負担が増えることになります。



(四条河原町での介護ウェーブ宣伝)

他院所に異動するスタッフです。  
ありがとうございました。



紫竹地域包括  
支援センターへ  
星本 育美



京都民医連へ  
山田 紗希



上賀茂デイサービスへ  
岸本 佐都子



おおみや葵の郷へ  
奥村 真澄

# 利用者アンケートにご協力いただきありがとうございました

2019年度

## 居宅介護事業所についてのアンケート

### ①記入される方はどなたですか。

本人	51	46%
家族	56	51%
その他	2	2%
無回答	1	1%

110

### ②あなたの担当ケアマネージャーの名前を知っていますか？

知っている	103	94%
聞いたけど忘れた	3	3%
知らない	1	1%
無回答	3	3%

110

### ③ケアマネージャーから介護サービスの料金や内容についてわかりやすい説明をうけましたか。

受けた	93	85%
受けていない	9	8%
その他	5	5%
無回答	3	3%

110

その度、説明はしてもらっているが、改正のサイクルが早く理解に苦しむ。前回と言っている事がちがうと感じてしまうことがある。

### ④ケアマネージャーは生活をよくするため話を聞いて、提案やアドバイスをしてくれますか。

てくれる	103	94%
どちらともいえない	4	4%
してくれない	2	2%
無回答	1	1%

110

昨年は174名の利用者様・家族様にアンケートを実施し、回収率は63%でした。ケアマネジャーから、介護サービスの内容やその料金について分かりやすく説明を受けたという評価は9割に満たず、改めてサービス内容等について丁寧に説明することや、利用者様の要望や意見をしっかりと把握することに努めていく所存です。またいたん見送られたケアプランの有料化ですが、審議が継続される見通しです。

私たちは民医連の事業所として、介護保険制度をはじめとした社会保障の改悪を許さない取り組みをすすめていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

居宅介護支援管理者 国井牧子

### ⑤介護保険サービスの内容変更や急な出来事があった場合にケアマネージャーは気持ちよく対応してくれますか。

てくれる	97	88%
どちらとも言えない	7	6%
してくれない	2	2%
無回答	4	4%

110

### ⑥ケアマネージャーはサービス事業所や医療機関などへ適宜連絡をとれますか。

てくれる	99	90%
どちらとも言えない	5	5%
してくれない	1	1%
無回答	5	5%

110

### ⑦担当のケアマネージャーに改善して欲しいことはなんですか。

今のところなし	107	97%
身だしなみ	0	0%
言葉遣い	0	0%
訪問時間	1	1%
その他	0	0%
無回答	2	2%

110

専門家としての接し方処置適切なアドバイスにいつも助けていただいている。

### ⑧ケアマネージャーが作成しているケアプランについて、国会で有料化を検討されていることはご存知ですか？

知っている	15	14%
知らない	90	82%
その他	1	1%
無回答	0	0%

106

有料化は負担になる。今まで通りやつてほしい。

## 新型コロナ感染拡大予防対策として

京都市では、介護保険事業全体が特別の期間であるとし、感染拡大を予防するための方針を提示しています。

私たちケアマネージャーは、この期間は居宅への訪問や自宅でサービス担当者会議等差し控えるよう指導を受けています。しかし、「足腰が弱り転倒が増えた」「人と話す機会が少くなり物忘れが進んだ」等の変化があつた時には、本人や家族としっかりと話し合う必要もありますので、お電話での相談や連絡を受けて対応しています。

訪問の際は、マスクを着用し、手指消毒を徹底するようにしておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

ご利用中に孤独感を感じられた事はありますか？

ない	55%
あまりない	27%
どちらともいえない	9%
時々ある	3%
よくある	3%
無回答	3%

慣れるまで行く  
のは嫌でしたが  
今は楽しいです。

職員の態度や身だしなみ、言葉使いはいかがですか？

満足している	79%
ほぼ満足している	18%
どちらともいえない	3%
やや不満である	0%
不満である	0%
無回答	0%

身だしなみや言  
葉使いが少し気  
になる時がある。

送迎時の運転は、安心して快適に乗車できていますか？

できている	82%
ほぼできている	9%
どちらともいえない	0%
ややできていない	3%
できていない	0%
無回答	6%

普段出歩くことが  
ないので週に一度  
街の風景を楽しん  
で見ています。

入浴は気持ちよく快適にできていますか？

できている	73%
ほぼできている	18%
どちらともいえない	3%
ややできていない	0%
できていない	0%
無回答	6%

職員さんが頭や  
背中を洗ってく  
ださるのがうれ  
しい。

レクリエーションは楽しいですか？

楽しい	58%
まあ楽しい	15%
どちらともいえない	0%
やや楽しくない	0%
楽しくない	3%
無回答	15%

色々楽しい作  
業ができるのが  
楽しい。

デイで実施している体操の内容に満足していますか？

満足している	64%
ほぼ満足している	12%
どちらともいえない	12%
やや不満である	3%
不満である	3%
無回答	6%

一人でいるとな  
かなかしないが、  
皆と一緒に体操  
は楽しい。

お食事は美味しいですか？

おいしい	42%
まあおいしい	30%
どちらともいえない	3%
あまり美おいしくない	9%
おいしくない	3%
無回答	0%

味が薄かつたり、  
お米が柔らかく  
感じることがあり  
ます。

引き続き利用したいと思われますか？

ぜひ利用したい	70%
どちらかといえば利用したい	15%
どちらともいえない	3%
どちらかといえば利用をやめたい	0%
利用をやめたい	0%
無回答	12%

温かい人  
が多いの  
でほっと  
する。

このたび2019年度に実施しましたアンケートの結果をお知らせいたします。今回のアンケート結果ですが『食事』に関して多くのご意見が寄せられました。「おいしい」と評価を頂いていますが中には「冷たい」「日によって不味い」「味噌汁だけでも熱い方が良い」といった声を頂戴しています。お弁当の種類によっては常温であることが味気なく感じるかもしれません。業者の方とご意見を共有するとともに、少しでも皆さんに美味しく食事が提供できるようご飯や味噌汁の温度に心を配りたいと思います。他にも『孤独感』を感じる、『レクリエーション』を楽しくないとの意見もありました。デイサービスで過ごす時間が価値のあるものとなり「今日もデイにきて良かった」と思って頂けるよう、一人ひとりの興味・関心に目を向けるよう努めて参ります。

新型コロナウイルスの影響でデイサービスでの過ごし方が大きく変わっています。交流を楽しむ場であるデイサービスにとって三密を回避することは難しく、このことであらためて『皆さんと楽しく元気よく過ごす』『美味しい食事を楽しむ』といったデイサービスの役割を感じました。まだ新型コロナウイルスは収束しておらず、第2波、第3波の心配をしています。これからも感染予防に努め、安全なデイサービス運営を心掛けます。

デイサービスセンター 管理者 河合隆志

# 2019年度 訪問看護についてのアンケート

配布数98 回収数65 回収率66%

## 1 記入される方はどなたですか

本人	42%
家族	52%
その他関係者	2%
無回答	11%

## 2 当ステーションを選ばれた理由は何ですか

主治医からすすめられた	26%
ケアマネジャーからすすめられた	55%
自分でみつけた	6%
わからない	5%
その他	8%
無回答	8%



## 3 あなたは契約締結又は利用開始にあたって、訪問看護についての十分な説明を受けられましたか

受けっていない	3.1%
あまり受けっていない	1.5%
わからない	4.6%
だいたい受けた	50.8%
受けた	40.0%
無回答	7.7%

ちゃんと相談にのって頂けていつも納得しています。とつさの場合臨機応変に訪問対応して頂いており助かっています



## 4 訪問している看護師の態度や身だしなみ、言葉遣いなどはいかがですか

不満である	1.5%
やや不満である	0.0%
どちらともいえない	1.5%
ほぼ満足している	20.0%
満足している	78.5%
無回答	6.2%

## 6 あなたは訪問看護師に介護や病気のことなどをいつでも相談し、納得できる助言を受けていますか

受けていない	0.0%
あまり受けていない	3.1%
どちらともいえない	7.7%
だいたい受けている	27.7%
受けている	60.0%
無回答	9.2%

体調悪い時、相談している



## 5 訪問看護師が提供する看護

不満である	1.5%
やや不満である	0.0%
どちらともいえない	1.5%
ほぼ満足している	30.8%
満足している	67.7%
無回答	6.2%

## 7 訪問看護のサービスを受けることで介護への負担や不安が少しでも軽くなっていますか

なっていない	1.5%
あまりなっていない	0.0%
どちらともいえない	0.0%
少しなっている	13.8%
なっている	69.2%
無回答	23.1%

## 9 あなたは訪問看護をこの事業所で今後も引き続き利用したいと思われますか

利用をやめたい	0.0%
どちらかといえば利用をやめたし	0.0%
どちらともいえない	0.0%
どちらかといえば利用したい	12.3%
ぜひ利用したい	84.6%
無回答	9.2%

安心できるので続けたい

体調不良時のアクシデント時にすぐに対応してもらえるので続けたい

毎日の介護に疲れますが精神的に非常に助けとなり有難い。何事も相談できる人がある事は安心できます。

本人のみならず妻の体調まで気遣いして下さる方、皆さん私の話をよく聞いて頂いて喜んでいます。遠い所様子を見て頂いてありがとうございます



大変お世話になっています  
感謝のみです

## 8 あなたが苦情や改善の要求をしたときの訪問看護師の対応はいかがですか

不満である	1.5%
やや不満である	1.5%
どちらともいえない	0.0%
ほぼ満足している	16.9%
満足している	36.9%
したことがないのでわからない	33.8%
無回答	16.9%

この度は98名の利用者にアンケートを配布し65名の方から返信をいただきました。たくさんのご意見をありがとうございました。今回のアンケート結果で訪問看護を引き続きぜひ利用したいと思われる利用者様が前年よりも増えています。この結果に甘んじることなく今後も利用者様やご家族様のご要望にできる限りお応えできるように皆さまのご意見をもとにサービスの向上に努めてまいります。

日々の療養生活や介護でお困りのことや不安な点がございましたらいつでもお声掛けください。

訪問看護ステーション 管理者 野崎文美子



# 葵会デイおたより



前回紹介しました刺繡の大作ができあがりました。

裁縫の得意な利用者さん 10 人くらいで  
作りました刺繡の作品。

葵会デイサービスの入り口で皆さんを  
お出迎えしています。

葵会デイサービスでは刺繡の他にも  
編み物やちぎり絵など細かな作品づくり  
に取り組まれている方がおられます。

きれいな作品をまたの機会にご紹介しますのでお楽しみに♪



## 【新型コロナウイルス対策】

季節が変わっても、まだまだ終わりの見えない  
「新型コロナウイルス」。葵会デイサービスでも  
感染対策に色々と取り組んでいます。

ご利用者様にはご利用前に、職員は仕事の前に  
検温を行ない、発熱の確認をしています。マスク  
の着用をお願いしているのはもちろん、デイサー  
ビスの室内ではテーブル席を離したり、常に換気  
を行なったり、皆で歌うことをやめたりと三密を  
少しでも回避できるよう試行錯誤しています。

暑い季節になるとマスクの着用も息苦しくな  
ります。マスクをしているがために水分を控えて  
しまわれる方も居られるようです。こまめに水分  
をとり熱中症や脱水にも気を付けましょう。



「デイサービスで布マスクを作りました」  
デイサービスでは使わなくなった着物の  
生地を再利用して布マスクを作りました。  
作り方を簡単にお伝えするだけで、皆さん  
縫うのが早い♪  
つけてみると…なかなかお似合いです。